

小栗栖中学校区小中一貫教育校 創設検討協議会だより

※小栗栖・小栗栖宮山・石田の3学区と中学校の地域・PTAの代表者・校長で組織する「小栗栖中学校区小中一貫教育校創設検討協議会」が発行しています。

小中一貫教育校創設について最終合意しました

9月19日に第2回、10月31日に第3回創設検討協議会を開催しました。

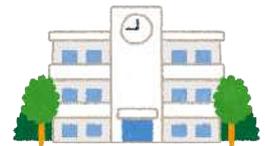
この間、小中一貫教育校創設に向けた課題について協議してきた結果、

- ① 施設一体型小中一貫教育校を小栗栖小学校敷地に整備し、小栗栖中学校敷地も活用する。整備中は小栗栖小と石田小を石田小敷地で一次統合する。
- ② 通学路の安全対策は関係機関と共に取り組んでいく。
- ③ 各学区の避難所機能は引き続き確保される。

という方向性で、早期開校を目指して取組を推進することを合意しました。

そして、小中一貫教育校の創設を求める要望書を、京都市教育委員会に提出することとなり、3学区の代表者の連名で12月に提出する予定です。

今後、3学区と中学校の連携を一層深め、新たな学校づくりを進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



要望書の主な内容（要約）

- 小栗栖小，小栗栖宮山小と石田小を統合し，小栗栖中と合わせて，できる限り早期に全国に誇るべき施設一体型小中一貫教育校を新設していただきたい。
- 小学校一年生から中学校三年生までの全ての子どもたちが共に学ぶ地域のシンボルとなる最新の校舎を現小栗栖小敷地に建設するとともに，小栗栖中の敷地を活用して，多様な教育活動を展開できる環境整備に努めていただきたい。新校舎の建設に際しては児童数の少ない小栗栖小と石田小を石田小敷地で一次統合していただきたい。
- 九学年が共に学ぶ施設一体型小中一貫教育校の特色を生かした教育内容・指導体制を確立し，夢と希望が溢れる学校づくりに尽力いただきたい。
- 新校名など様々な検討課題には，地元・保護者の意向を尊重していただきたい。
- 通学路の安全対策には，地元や保護者はもとより警察等の関係機関とも十分連携して，万全を期していただきたい。
- 小中一貫教育校開校後も各学区に自治活動の拠点や避難所の機能を確保していただきたい。

ご意見やご質問などがありましたら，各学校までお寄せください。

■小栗栖小 TEL 571-7632 FAX 571-6404
e-mail ogurisu-s@edu.city.kyoto.jp

■小栗栖宮山小 TEL 572-5216 FAX 572-5217
e-mail miyayama-s@edu.city.kyoto.jp

■石田小 TEL 572-1411 FAX 572-1482
e-mail ishida-s@edu.city.kyoto.jp

■小栗栖中 TEL 572-3135 FAX 572-3165
e-mail ogurisu-c@edu.city.kyoto.jp